益城町こども計画(案)に対するパブリックコメントの結果について

■パブリックコメントの実施状況

意見募集期間	令和7年1月27日(月曜日)～令和7年2月16日(日曜日)
意見提出方法	①オンライン専用フォームで提出 ②紙の意見書を提出(回収箱・郵送・FAX)
意見数	回答者数:オンライン547件(こども・若者496件／一般51件) 紙1件(一般1件)　　全548件 意見数:682件 ※「特になし」など無効な意見や個別での対応が必要な意見など30件を除いた件数

■ご意見の整理

いただいた意見はすべて読んで、以下のように整理しています。

①同じテーマ、同様の意見については一つにまとめて整理

②1つの意見で複数のテーマを含んでいる場合はその意見の主なテーマに整理、もしくは分割して、それぞれのテーマに整理

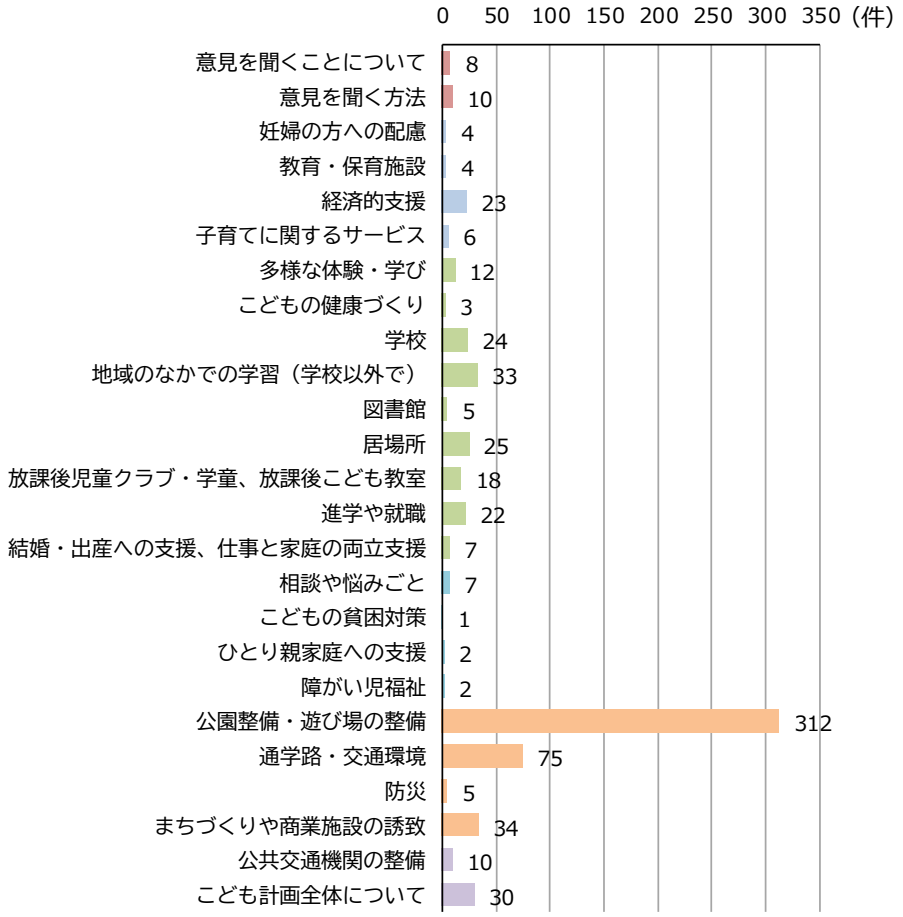
③同様の意見をまとめたもの以外については、誤字・脱字等の修正はせず提出のあったまま掲載(個人が特定される可能性のある記述については編集)

類似の意見が多かった意見については、下のようなマークを付けています。

同様の意見が
〇件ありました

基本目標ごとに分類すると下表のような件数になりました。

基本目標		分類	意見数	
1. 地域全体でこどもまんなか社会を実現するまち	1-1	意見を聞くことについて	8	18
	1-2	意見を聞く方法	10	
2. 安心してこどもを生み育てることができるまち	2-1	妊婦の方への配慮	4	37
	2-2	教育・保育施設	4	
	2-3	経済的支援	23	
	2-4	子育てに関するサービス	6	
3. こども・若者が健やかに成長し、希望をもつことができるまち	3-1	多様な体験・学び	12	149
	3-2	こどもの健康づくり	3	
	3-3	学校	24	
	3-4	地域のなかでの学習（学校以外で）	33	
	3-5	図書館	5	
	3-6	居場所	25	
	3-7	放課後児童クラブ・学童、放課後こども教室	18	
	3-8	進学や就職	22	
	3-9	結婚・出産への支援、仕事と家庭の両立支援	7	
4. 多様なこども・若者、子育て世代が置かれた環境に関わらず幸せに暮らすことができるまち	4-1	相談や悩みごと	7	12
	4-2	こどもの貧困対策	1	
	4-3	ひとり親家庭への支援	2	
	4-4	障がい児福祉	2	
5. こども・若者が安全に暮らすことができるまち	5-1	公園整備・遊び場の整備	312	392
	5-2	通学路・交通環境	75	
	5-3	防災	5	
6. その他	6-1	まちづくりや商業施設の誘致	34	74
	6-2	公共交通機関の整備	10	
	6-3	こども計画全体について	30	
全体			682	



目次

1. 地域全体でこどもまんなか社会を実現するまち 1
1-1. 意見を聞くことについて 1
1-2. 意見を聞く方法 2
2. 安心してこどもを生み育てることができるまち 3
2-1. 妊婦の方への配慮 3
2-2. 教育・保育施設 4
2-3. 経済的支援 7
2-4. 子育てに関するサービス 9
3. こども・若者が健やかに成長し、希望をもつことができるまち 10
3-1. 多様な体験・学び 10
3-2. こどもの健康づくり 12
3-3. 学校 13
3-4. 地域のなかでの学習（学校以外で） 16
3-5. 図書館 17
3-6. 居場所 18
3-7. 放課後児童クラブ・学童、放課後こども教室 20
3-8. 進学や就職 22
3-9. 結婚・出産への支援、仕事と家庭の両立支援 24
4. 多様なこども・若者、子育て世代が置かれた環境に関わらず幸せに暮らすことができるまち 26
4-1. 相談や悩みごと 26
4-2. こどもの貧困対策 27
4-3. ひとり親家庭への支援 27
4-4. 障がい児福祉 28
5. こども・若者が安全に暮らすことができるまち 29
5-1. 公園整備・遊び場の整備 29
5-2. 通学路・交通環境 31
5-3. 防災 33
6. その他 35
6-1. まちづくりや商業施設の誘致 35
6-2. 公共交通機関の整備 39
6-3. こども計画全体について 40

１．地域全体でこどもまんなか社会を実現するまち

1-1．意見を聞くことについて

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	40頁	こどもの意見をしっかり聞いたり、こどもの権利を大切にすることで暮らしやすいまちになると思います。 同様の意見が6件ありました	計画書40頁に記載のとおり、こどもの権利を大切にし、こどもの社会参画・意見反映を推進し、「こどもまんなか益城町」を実現するよう努めてまいります。
2	こども・若者	40頁、52頁	「こどもの意見を学校運営等へ反映する仕組みづくり」について、すべてのこどもの意見をまとめて学校の仕組みを変えることは難しいと思います。仕組みを変えることで文化というものがなくなっていくと思うし、なにより教員側の負担が大きすぎます。こどもだけでなく、現状の教員の負担を減らしたあとに、このような取組をしてほしいです。そうしなければ、負担が大きすぎて今でも教員の数は少ないのにこれからどんどん減っていくと思います。 今解決できていない問題に向き合わずに次の課題を作ることはおかしいし、問題は大きくなるだけだと思います。	学校の制服変更に生徒の意見を反映させる等、こどもの意見を学校運営に反映することについては、現時点でも行われています。社会参画のスタート期として、小・中学校で発達段階に応じた適切な取り組みを進めてまいります。
3	こども・若者	40頁	こども議会は、他の自治体でも実施はされているが、それで何か変わったのか。正直、こどもの意見をしっかりと受け止めることができるのかが心配です。そんなことに金を投じるくらいであれば、公園の整備にでも充てて新しい遊具を購入したほうがまだ良いのではと感じます。	こども議会は2年に1回開催しています。 各小中学校の代表は2名で、各校が抱える問題や町への提案について代表からの一般質問とし、町議会を模して実施しているところです。 18才から選挙権が付与されますので、小中学生のうちから町政や政治に関心を持っていただき、政治への参画を促すことを目的としており、これまでもこども目線での様々な提案や問題提議があっており、町の施策に活かされています。

1-2．意見を聞く方法

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者、一般	40頁	こども会議だけではなくいろいろな方法でこどもの意見を聞いてほしいです。 ・学校での授業時間で意見を出し合う ・アンケートなど匿名で答える ・学校に意見箱や目安箱を置く 同様の意見が8件ありました	今回のパブリックコメントでは、こども・若者の皆さんから非常に多くのご意見をいただきました。今後も、こども・若者の皆さんが意見を言いやすい・提出しやすい方法を検討し、様々な機会に、より多くのご意見をいただけるよう環境整備に努めてまいります。
2	一般	40頁	今のこどもたちや若者の多様な意見を聞いて、本町で生活や仕事をしている大人たち（親・地域・行政・学校・企業・その他）は何をするのか。その付近の記載が乏しいように感じます。	計画書85頁に記載のとおり、計画の推進においては、地域のさまざまな担い手がそれぞれの特徴や能力を活かし、お互いに連携を図りながら、「協働」による取り組みを推進してまいります。
3	一般	40頁	『生涯学習やスポーツ活動、インターネットや社会活動（職場体験や見学旅行、各種体験活動）などを通じ、多種多様なこどもや若者のニーズ、いわゆる「夢」を一緒に探す・応援する・叶える活動を全町的に実施する。』という事項（対応は全課）を、基本事項１の（2）の3番目などに掲載できないでしょうか。 そのような事項を計画に記載されているのであれば、こども計画の真ん中にいる「こどもたち」がやりたい気持ちが少しでも叶えられることで、ワクワク・ドキドキ感が増すことで楽しい生活ができるのではないでしょうか。	ご意見いただいた取り組みについては、基本目標3に記載しています。町、地域、その他関係機関と連携し、こども・若者が希望をもつことができるよう、様々な機会の充実に努めてまいります。

2．安心してこどもを生み育てることができるまち

2-1．妊婦の方への配慮

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	42頁～43頁	妊婦の方が安心して過ごせるように休憩スペースなどをつくるとよいと思います。 同様の意見が4件ありました	妊婦の方々が安心して過ごせる環境づくりは大変重要と考えております。 町では、現在、役場庁舎、保健福祉センター、交流情報センターなど、人が集まる公共施設には、授乳室やおむつ替えシートなど、乳幼児連れのお母様向けの設備を設置しております。 いただいたご意見を参考に、妊婦の方にとってより快適で安心できる環境づくりのため、今後、関係各課と連携し、検討を進めてまいります。

2-2．教育・保育施設

番号	分類	計画書	意見	回答
1	一般	31頁、47頁	計画書31ページに「保育補助者雇上強化事業を利用して保育士資格の取得につなげた」とありますがその方は益城町で保育士としてご活躍されたのでしょうか。ただ「保育士になりたい」人を育てるのではなく「益城町で保育士になりたい」人を育ててほしいです。 同様の意見が2件ありました	計画書31ページの「保育補助者雇上強化事業」については、町内の保育施設に勤務されている方の保育士資格の取得を促すもので、実際に保育士資格を取得し益城町内で活躍されている方もいます。ご指摘の「益城町で保育士になりたい」人を育てることは重要な課題と認識しております。 今後、益城町内での就業支援やインターンシップの機会を増やすとともに、地元の保育施設や教育機関との連携を強化し、地域に根ざしたキャリアパスを明確にするための情報提供を行います。また、福利厚生の充実を図り、働きやすい環境を整備することで定着率の向上を目指します。 引き続き、地域の保育環境の充実に努めてまいります。

2	一般	44頁	以前「町の職員数には定数があるため、公立の保育士や幼稚園教諭ばかりを増やすと役場で勤務する職員数を減らすことになる」というお話を耳にしたことがあります。 知人で「益城幼稚園がいい」と望んで申し込みに行ったのに断られたという人が2名います。 入園者を増やすと来年度は2クラスにする必要があるがそのための担任職員を増やせる確証が持てない、とのことでした。 益城町にはただでさえ幼稚園の選択肢が少ないです。確かに全体のニーズとしては保育園が増えて欲しい、が多数とは思いますが、「益城幼稚園がいい」というニーズもあるのです。理由があって働かない母親もいます。幼稚園を利用したい保護者もいるのです。ぜひ益城幼稚園を、と希望するたった一人二人を入園させられない今の状況は変えるべきだと思います。 我が子を益城幼稚園に通わせつくづく益城幼稚園の先生方は皆さん本当に素晴らしいと思っています。言葉遣いも丁寧で笑顔を切らすことなく、一人一人の個性と向き合ってくださり、どうやってその子の力を伸ばすか、といった「幼児教育」をしてくださっています。 保育所とはまた役割が違います。 益城幼稚園に通わせたい！と思う人はこれからも必ずいます。公立幼稚園が次々と閉園に追い込まれていますが、益城幼稚園だけは誇りを持って存続していってほしいです。町の宝です。 そのために、保育士確保も必要ですが幼稚園教諭を減らすという選択は避けていただきたいです。	益城幼稚園に対する高い評価とご支持をいただき、ありがとうございます。 年度途中の申し込みに関しては、教諭の人数や在園児童の人数により受け入れが難しい場合があります。 ご指摘のとおり、町の職員数には定数があり、保育士や幼稚園教諭の増員には制約がございます。しかしながら、益城幼稚園の存続と質の高い教育の提供は、町としても重要な課題と認識しております。今後も、保育所のニーズと幼稚園のニーズのバランスを考慮しながら、適切な対応を検討してまいります。 また、ご指摘のとおり、町には幼稚園と認定こども園が1園ずつと、選択肢が少ない状況にあります。住民の方の選択肢が広がるような整備も引き続き検討をさせていただきます。

3	こども・若者	45頁	子育てに関する相談への取組や「待機児童ゼロ対策」について、若い人が妊娠や出産で困ってる話をよく聞くし、仕事があるのにこどもが保育園に行けなかったりする人もいるのでこの取り組みはとてもいいと思います。	町では、子育て支援の充実を重要な課題と認識し、特に「待機児童ゼロ対策」に力を入れております。若い世代の方々が妊娠や出産で困難を感じることなく、安心して子育てができる環境を整えるため、保育施設の増設や保育士の確保に努めています。また、子育てに関する相談窓口を設置し、育児に関する悩みや不安に対して迅速かつ適切な支援を提供しています。今後も皆様のご意見を参考にしながら、より良い子育て環境の整備に取り組んでまいります。

2-3．経済的支援

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	43頁、45頁	益城町のこどもや子育て世代に給付金や費用免除があるとよいと思います。 ・益城町のこども全員に1万円の給付金 ・多子世帯への補助 ・物価高への対応 同様の意見が13件ありました	計画書43頁に記載のとおり、児童手当として18歳までのこども一人あたり1～3万円（※年齢・人数による）を支給しています。また、物価高騰対応の住民税非課税世帯への給付金（こども加算あり）等の支給も行っています。 今後も国の支援メニューを最大限活用しながら、こどもや子育て世代への支援を行うよう努めてまいります。
2	こども・若者	43頁、45頁	学校に関係する費用の経済的支援があるとよいと思います。 ・修学旅行費の免除 ・制服代の免除 ・ワーク無償化 同様の意見が5件ありました	経済的に困窮し就学困難な児童生徒の就学を支援するために、学用品購入費、学校給食費や修学旅行費などの就学費を援助しています。支給対象につきましては、一定の基準があり、概要を町ホームページに掲載しております。 なお、制服代の免除やワーク無償化については、実施しておりませんが、今後、検討してまいります。

3	こども・若者、一般	43頁、45頁	保育園・小学校の給食費を無償化してほしいです。 同様の意見が4件ありました	小中学校の学校給食費については、学校給食法に則った対応を行っており、児童・生徒分の学校給食費が、年間約1億7千万円となっておりますので、現在の大変厳しい町の財政状況を鑑みたとき、これを無償化することは、難しい状況です。保育所の給食費無償化についても、同様に財政的な制約のため、難しい状況です。 今後も、町の財政状況や他の施策との整合性を見極め、国及び他自治体の動向も注視しながら、給食費無償化について検討してまいります。
4	こども・若者	43頁、45頁	給食費について、無償でも有料でも栄養のあるおいしい給食を提供してほしいです。 無償化になることで、全員が給食をたべることができると思います。ですが、無償化することにより予算が減り給食の質が落ちるのであれば給食を無償化する意味がないと思います。 無償化にせず補助金を出し、もっと栄養のある給食にした方がよいのではと思います。 今の小中学校はお金がないと言われて、暑くて寒いのにエアコンもとても節電しています。お金がないのであれば、無理して無償化にしなくてもいいと思います。他のところに予算を充てるということも考えてほしいです。	学校給食につきましては、学校給食法第８条において、学校給食実施基準に照らし、適切な学校給食の実施に努めておりますので、仮に給食費を無償化した場合であっても、給食の質が下がることはありません。

2-4．子育てに関するサービス

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者、一般	45頁、77頁	今の子育て世代が暮らしやすい、仕事がしやすいように 安心してこどもを預けられるところを増やすとよいと思います。 ・安全・安心で任せられる託児所 ・休日でもこどもを預けられる（遊べる）施設 ・一時預かり保育の検討 同様の意見が5件ありました	計画書74～78頁に記載のとおり、「幼稚園や幼稚園以外での一時預かり事業」、「病児保育事業」等様々な事業を実施しており、82頁に記載のとおり、「こども誰でも通園制度」も実施に向けて検討中です。 今後も、子育て世代のニーズに応えられるようサービスの充実に努めてまいります。
2	一般	45頁、76頁	「つどいの広場」について、令和8年度から新たに一か所、とのことですが、ぜひNPO法人大きな木「とんとん」さんを復活させてほしです。とんとんが無くなり、あれほどの珍しくて楽しい木のおもちゃや絵本の蔵書を持つ子どもの遊び場に出会えていません。中央小跡地で開所していた頃は施設内で飲食も可能で、お昼ご飯を持ち込んでスタッフの方や来所した親子皆でテーブルを囲んで楽しく食べることができました。マシキラリへ移転された際も工夫して飲食可能なスペースを作ってくださっていました。就園前の子どもを連れて遊びに行く際「遊ぶだけの場所」ではなく「遊んで、オムツ替えや授乳もできて、お昼ご飯やおやつも食べられるところ」はとてもありがたいです。小さな子を連れてあちこち出かけて車の乗り降りをするのは意外と大変です。町内にそのような場所がないので「今日はどこに連れて行こう…」と頭を悩ませることも多かったです。また、昔のとんとんのような孤独な親子を救ってくれるような集える場所がほしいです。	計画書76頁に記載の「地域子育て支援拠点事業（つどいの広場）」については、民間事業者に運営業務を委託して実施しています。委託先の民間事業者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式を導入し、委託費用だけでなく企画内容（どういった運営を行っていくか）も含めて審査し、つどいの広場がこどもと子育て世代にとってより良い場所になるよう努めています。いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。

3．こども・若者が健やかに成長し、希望をもつことができるまち

3-1．多様な体験・学び

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	48頁、52頁	将来の夢がみつかるようにこどもの才能やこどもの好きを見つけられるイベントや体験のきっかけづくりをしてほしいです。 同様の意見が4件ありました	中学生を対象に、町内事業所や町役場での職場体験を実施しています。 また、外部人材を活用して、文化芸術・スポーツ分野等での体験の機会を創出しています。 ・(公財)日本サッカー協会　JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 ・県立劇場アウトリーチ事業　等 この他、モルック等のニュースポーツやeスポーツなども取り入れながら、各種スポーツイベントも開催しています。 いただいたご意見を参考に、今後も内容の充実に努めてまいります。

2	こども・若者、一般	48頁～49頁	具体的な体験やイベントへの意見 ・部活動では学校の経験者の先生だけじゃなくてコーチにきてもらうなどもっと強くなる機会 ・自然を利用して地域の人や、こどもとの交流 ・災害について学習する機会 ・授業にそろばんを取り入れる 同様の意見が6件ありました	小学校部活動は平成31年度（令和元年度）からスポーツ少年団に移行しており、中学校部活動は令和8年度から休日の地域移行を目指して検討しているところです。部活動の受入先として、気軽に活動できる団体から専門的な指導を受けられる団体まで手配できるよう検討していきます。 また、国天然記念物「布田川断層帯」や赤井火山などの自然現象を活用し、防災・減災について学ぶ機会を提供しています。（例：健康フェスタ『記憶の継承WALK』、復興まちづくりセンターにじいろ・交流情報センターミナテラスにおける関連資料の展示） なお、学校においても、自然災害について学ぶ時間を設けています。 いただいたご意見を参考に、今後も内容の充実に努めてまいります。
3	こども・若者	48頁	「地域におけるスポーツ活動を推進する支援や支持を行える人材の育成」について運動することが苦手な人や好きじゃない人もいるからあまり意味をなさないのではないかと思う。	スポーツをやりたい、専門的な指導を受けたいと考えるこどももいると思われますので、スポーツ活動の支援や指導者育成に取り組んでいきたいと考えています。また、スポーツが苦手な人たちの受け皿として、eスポーツ等の新しい取り組みにも努めてまいります。

4	一般	48頁～49頁	何かやりたい、やってみたいと思う子ども・若者は、本計画においては相談できる場所がないと考えられます。学校教育では意見を反映すると記載がありますが、その他はどうでしょうか。	令和7年4月に開館した益城町地域共生センターは公民館機能を持ち、「いきがい」や「やりたいこと」が見つかる場所として、広く町民に利用していただきたいと考えております。 また、様々なスポーツをやってみたいと思うこどものために、現在休止中の総合型スポーツクラブの早期再開に努めてまいります。

3-2．こどもの健康づくり

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	48頁	プールを作れば、健康な体になると思います。	プールを作るためには、建設費及びその後の維持管理費等、多額の費用が掛かることから、慎重に検討する必要があります。PPP（公民連携）等の活用も視野に入れながら検討してまいります。

2	一般	48頁	こどもの健康は大事だと思います。 朝又は昼、体操など軽く出来れば、頭も体もリラックス、リフレッシュ出来ると思います。 同様の意見が2件ありました	こどもたちの健康づくりは重要な課題であり、町としても健康増進につながる様々な取り組みを推進していく必要があります。 現在、「第3期益城町健康づくり推進計画」に基づき、こどもの頃からの運動習慣の獲得や、様々な世代が参加できるイベントなどを実施し、遊びを通じて身体を動かす楽しさや運動の意義を伝えられるような取り組みを展開していく予定としております。 ご提案いただいた、体操などによる健康増進の機会は、まさにこの健康づくり推進計画の趣旨に沿ったものであり、こどもたちの心身のリフレッシュ、健康増進の観点からも大変有効な手段だと考えています。具体的な実施内容について検討を進めてまいります。

3-3．学校

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者、一般	52頁、55頁、61頁	いじめ、不登校防止及び支援体制の確立について早急に体制を整えてほしい。 同様の意見が7件ありました ・登校が難しい人のためにオンライン授業をしてほしい ・久しぶりに学校に行くとき、行きやすい環境を作ってほしい ・いじめられた子やその家庭が悩んで我慢する環境を変えてほしい	いじめ相談については、電話相談の他、スクールカウンセラーの配置等の相談環境を整えていきます。また、不登校支援については、支援センターであるフレンドネットの充実を図ってまいります。

2	こども・若者、一般	52頁	みんなが授業や勉強についていける環境を整えてほしい。 ・授業がわかる人がわからない人に教えられる勉強会などをつくる ・ノートをとるのに精一杯、授業内容が頭に中々入ってこない ・帰宅後疲れていて、宿題をできない事があるので、もう少し宿題の量を減らしてほしい 同様の意見が3件ありました	町では、小中連携した授業改善を推進し、各学校ではICTを活用するなどして主体的な学びを促す取組を進めているところです。今後も、町内各学校で情報を共有し、改善を進めてまいります。
3	こども・若者、一般	52頁	小・中学校を拡張したり、増設したりしてほしい。 同様の意見が3件ありました	区画整理事業等による宅地造成に伴い、生徒の増加による教室不足が見込まれる益城中学校ついては、令和7年度に普通教室棟の増築を予定しています。その他の小中学校についても、必要に応じて検討を行ってまいります。
4	こども・若者	52頁	学校の整備を進めてほしい。 ・グラウンドを人工芝にする ・熱中症対策で体育館にエアコンをつける ・熱中症対策でプールに屋根を付ける ・コートの強風対策をする 同様の意見が6件ありました	いずれも児童生徒の安全性や学習環境の向上につながる重要な内容と認識しております。今後、他自治体の事例なども参考にしながら、検討してまいります。
5	こども・若者	52頁	学校は勉強や授業に集中できる環境にしてほしい。 同様の意見が2件ありました	現在も学級支援員を配置し学級担任と連携を図りながら学習指導等に取り組んでいます。今後の増員等については、必要に応じ検討するなど、児童生徒がより良い学びを得られるよう努めてまいります。

6	こども・若者	52頁	他の学校との交流ができる場所を作ってほしい。	他の学校との交流については、小中学校合同での朝の挨拶運動や、中学校間での生徒会の交流など実施できているところです。また、津森小においては、台湾の大甲國民小とのオンライン交流を行っております。 今後も、交流の場が増えるよう検討してまいります。
7	一般	52頁	小中学校の特色を新聞やテレビ局に取り上げてもらって、益城町以外の保護者に知ってもらうことにより、住民の呼び込みにつなげてはどうかと思います。その際、益城町で行われているこどもへの手厚い取組もアピールできたらと思います。	各学校では、ホームページにて情報を発信するとともに、その特色に応じて取り組み等をメディアに取り上げていただいているところです。 今後、情報発信の在り方について検討を進めてまいります。
8	こども・若者	52頁	「学校の学びをさらに良くする」取組みとは具体的にどのようなものですか。	計画書52頁に記載のとおり、「キャリア教育の実施（小学校や中学校で将来の職業や進路について学ぶ機会の提供）」、「豊かな心の育成（道徳教育や人権教育の充実）」、「国際理解のための学習機会等の充実」等の取組を通して、学校教育を充実させるよう努めてまいります。

3-4．地域のなかでの学習（学校以外で）

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	53頁～54頁	家以外にも静かに集中して勉強できる学習スペースをもっと増やしてほしいです。 ・ミナテラスのような学習スペースをいろいろな場所にほしい ・木山にあるコネットのような勉強できる場所がほしい ・本を読みながら勉強できる場所がほしい ・誰でも使えるフリースペースのような学習スペース ・もし学習スペースが既にあるなら情報がほしい 同様の意見が29件ありました	ミナテラスやコネットの他にも、計画書56頁に記載のとおり、町内公共施設の一般利用可能スペースも活用できるよう整理し、学習をはじめ自由に過ごせる居場所づくりを進めていきます。また、そういった情報が、こども・若者に広く届くよう情報発信にも努めてまいります。 また、令和7年4月に開館した益城町地域共生センターでは、誰でも自由に訪れて気軽に利用できるフリースペースを設置しています。フリースペースにおけるさまざまな交流の中から、「いきがい」や「やりたいこと」が見つかり、生涯学習に参加するきっかけが生まれればと考えています。
2	こども・若者	53頁～54頁	家族や地域のみんなが集まって教え合える場所やそういう機会を作るとよいと思います。 同様の意見が3件ありました	令和7年4月に開館した益城町地域共生センターでは、誰でも自由に訪れて気軽に利用できるフリースペースを設置しています。フリースペースにおけるさまざまな交流の中から、「いきがい」や「やりたいこと」が見つかり、生涯学習に参加するきっかけが生まれればと考えています。

3	一般	53頁～54頁	フリースクールの費用について補助をおねがいしたいです。東京などでは、フリースクールに通うこども達にスクール代の費用を補填する取組みも始まっていると聞いています。 こどもの多様性を尊重し、引きこもりをなくすためにも学校以外の場所に通うこども達に支援をお願いしたい。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を参考に、不登校児童生徒の支援のあり方について検討を重ねてまいります。

3-5．図書館

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	53頁	小さい子が読みたい本が見つかりやすいからこども図書館はいいと思います。	絵本を中心としたこども図書館を計画しています。
2	こども・若者	53頁	図書館の本についての意見があります。 ・本の数を増やして欲しい ・こども向けの本だけでなく様々な種類の本を揃えて欲しい 同様の意見が2件ありました	予算の範囲内で、引き続き、様々な分野の本がご覧いただけるよう、選書を行ってまいります。
3	こども・若者	53頁	こどもだけの図書館を作るより大人からこどもまで利用ができる図書館の中にこどもが利用できるエリアを作る方が来てくれるお客さんが多くなるという利点もできると思います。	こども図書館は交流情報センター内に整備予定です。また、こども図書館は絵本中心となる予定ですが、大人の方で絵本に興味のある方、もちろんない方もご来館いただきたいと考えています。
4	一般	53頁	本を読むのは大切なことだとは思いますが、関心を寄せるこどもが少ないのは事実です。まず、こどもの関心を集めるようなことで、注目を集めることです。そのため、本を読むことの大切さがわかるようにしてはどうでしょうか。いきなり、こども図書館つくりますは、どうかと思いました。	町では第3次の子ども読書プランを計画中です。幼児から中高生まで年齢に応じた本とのふれあい方を計画してまいります。

3-6．居場所

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	55頁～56頁	公民館など室内のこどもの遊び場を増やしてほしいです。 ・益城町役場の「にじいろ」のような場所 ・こどもや若者が交流できる場所 ・ピアノが弾ける場所 ・中学生や高校生の遊び場や居場所 ・机や椅子があって誰でも自由に利用できる場所 ・マナーやルールが守られる場所 ・魅力がある行きたいと思う場所 同様の意見が20件ありました	計画書55頁に記載のとおり、児童館は18歳までの児童であれば誰でも利用できますので、ぜひご利用ください。 また、計画書56頁に記載のとおり、町内公共施設の一般利用可能スペースも活用できるよう整理し、自由に過ごせる居場所づくりを進めてまいります。
2	こども・若者	55頁～56頁	安心して遊んだり学んだりできるこどもの居場所をつくることはいいことだと思います。	令和7年4月に開館した益城町地域共生センターは、「垣根のない学びの提供」・「交流による新たな価値や活動の創造」・「憩いとにぎわいの場の提供」の3つを柱とし、公民館講座のみならず用事がなくともふらっと訪れ、新たな出会いや交流のできる施設として、ご利用いただきたいと考えています。
3	こども・若者	55頁～56頁	卓球が大好きなので、小峯地区の近くに体育館を作って欲しいです。	費用対効果等を勘案して、現在のところ小峯地区周辺に体育館を整備する予定はありません。少し遠くなりますが、総合体育館や令和7年4月に開館した地域共生センター等で卓球をすることができますので、ご利用ください。 こどもをはじめ多様な人々が卓球等のスポーツを気軽にできるよう環境整備に努めてまいります。

4	こども・若者	55頁～56頁	古い公民館を新しくしたり、トイレがない公民館にトイレをつくってほしいです。 同様の意見が2件ありました	築年数の古い公民館津森分館については、建替えを予定しております。トイレのない公民館（自治公民館）については、改修に係る補助として、「益城町ふるさとづくり施設整備費補助金」の活用を紹介しています。
5	こども・若者	55頁～56頁	交流情報センターに関しては、ただの会議室と図書館がくっついてるだけの建物へと化している気がします。今もあるのかは分かりませんが、パソコンが数台置いてあるスペースは撤去したほうが良いと考えます。あれでは金のかからないネカフェです。あの場所こそ、小さなこどもたちが遊ぶことができるようなスペースに変えるべきです。また、何かを展示しているスペースもあったが、私は不要であると感じています。ネットやスマホが身の回りにあるからこそ、あのような場所ではアナログ的なことができるようにするべきで、例えば、絵を描くスペースや折り紙とかでも良いのではないでしょうか。紙と色鉛筆さえあればできるので、そこまで予算がかかるものではないと思います。もし、そこに割く予算がないのであれば折り紙等の現物の寄付をしてもいいと考えています。	令和7年度から、交流情報センターの会議室は主に中高生向けの学習ルームとなる予定です。また、視聴覚室は、令和8年度を目途に、絵本を中心とした子ども図書館に用途を変更する予定です。 パソコンスペースは、情報を必要としている方に対してのスペースとしております。 展示スペースについては、地域の方々の展示会や町の文化財展示などに活用しており、体験型のワークショップなどを通じて町の文化財に触れる機会を創出しています。また、夏休み期間中に、紙・折り紙・毛糸・接着用具等を準備し、来館された方が気軽に自由に作っていただけるよう「工作」のイベントを開催したところ、好評を博しましたので、今後も計画してまいります。

3-7．放課後児童クラブ・学童、放課後こども教室

番号	分類	計画書	意見	回答
1	一般	55頁、56頁	放課後児童クラブについて必要なこどもたちや家庭全員が安心して利用できるよう、受け入れ環境の整備を進めてほしい。 同様の意見が12件ありました ・学校敷地内にあるクラブ（大人数が苦手がこどもいるため） ・専用施設の増設 ・空き教室の活用、コンテナハウスやトレーラーハウスの活用 ・支援員の確保・配置の充実 ・民間事業者との連携による柔軟な受け皿の確保 ・障がいをもつこどもを安全に預かるためにも適正人数で保育できる環境が必要	児童の受入環境の整備につきましては、分譲地の整備状況や人口推計等の状況も確認しながら、必要に応じて運営場所の確保を行い、放課後児童クラブの増設、民間事業者等との連携も含めた児童の受け皿の確保を検討してまいります。 支援員の配置につきましては、国の基準で定められた人員を全ての放課後児童クラブで常時満たしており、また、障がい等を持つなど配慮が必要な児童に対応するための人員についても、別途専門知識を有する支援員を配置しております。
2	一般	55頁、56頁	放課後児童クラブ・学童の運営について、現在の補助金の制度では、多くの児童を受け入れれば受け入れるほど、補助金の額が少なくなるという仕組みになっています。国、県、町からの補助金だけではなく、町独自の補助金を検討してほしいです。 同様の意見が3件ありました	放課後児童クラブの運営に対する国・県の補助金の基本額は1クラブあたりの児童受入が45人を超える場合には減額されますが、実施事業に応じた加算額もあるため、基本額と加算額の合計で見た場合、令和６年度時点では、児童数が多いクラブへの補助金が少なくなっているわけではありません。 このため、現時点では児童数が多いクラブに対する町独自の補助金は検討しておりませんが、今後は先進自治体の事例等についても研究を行い、実施の必要性について検討を行ってまいります。

3	一般	55頁、 56頁	放課後等デイサービスと放課後児童クラブを併用すると利用料が月々12000円ほどかかるので、減免していただけると助かります。こどもが自力で登下校するのが難しい場合は、併用しないと親の就労が難しいです。	放課後等デイサービスについては、国が定める基準に基づき、所得に応じた利用者負担上限金額が設定されています。 放課後児童クラブの利用料については、各クラブで設定されていますが、熊本県の基準に基づく要件（就学援助対象児童）に該当する場合には、利用料の助成を行っております。 現時点では、利用料助成対象の拡大について検討しておりませんが、今後は先進自治体の事例等についても研究を行い、実施の必要性について検討を行ってまいります。
4	一般	55頁、 56頁	放課後児童クラブ・学童の運営等への意見があります。 ・送迎場所が一方通行で駐車スペースも狭く、渋滞が起き、お延長料金がかかる時がある ・西小学校の迎えの道（プールと体育館横）は雨の日泥水が大量に発生し、シートを敷いていますが、それが泥水で浮いて滑りやすい状況で危険 ・長期休み時、毎日お弁当持参ではなく、給食等は出来ないのか ・長期休み時の学童保育時間（午前8時）を（午前7時）からしてほしい。	送迎場所につきましては、要望等も踏まえ学校とも協議を行いながら適切な場所の確保に努めてまいります。 長期休み時の給食等の提供は、いずれの放課後児童クラブも限られた人員・予算で運営を行っているため、現在は実施できておりませんが、令和7年度より運営事業者が民間事業者に変更になる放課後児童クラブについては、対応可能になる予定です。 長期休み時の保育時間については、保護者の働き方によるニーズ等も踏まえ、各放課後児童クラブの運営事業者との協議を行ってまいります。

5	一般	55頁、56頁	今は、部活動がないまたは少ないため、放課後こども教室にスポーツ活動もあるとよいと思います。	現在、放課後子供教室事業は「そろばん教室」のみ実施しております。新規教室につきましては、指導者等を確保する必要がありますので、現場におけるニーズや実態を分析しながら検討してまいります。

3-8．進学や就職

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	57頁	将来につながる仕事や進路を見つけたりするためにもっと職場体験を実施したり、受け付ける場所を増やしてほしい。 同様の意見が3件ありました	職場体験については、町内企業等にご協力いただき、実施できているところです。 今後も、生徒の多様なニーズに応えることができるよう検討してまいります。
2	こども・若者	57頁	進学については高校の特徴等を教えてほしい。	各学校では、高校等の紹介パンフレットを提示するとともに、進路相談等で生徒のニーズを把握し、進路指導を行っているところです。 今後も、生徒に寄り添った進路相談を継続してまいります。
3	こども・若者	57頁	希望する高校に入学することをサポートしてくれる取組をしてくれることはありがたいです。 同様の意見が4件ありました	
4	こども・若者	57頁	学校などで将来の像を見つけてもらうのは良いと思いますが、将来の夢は「こんなのがある」と、直接その事に触れたりする事をやめさせてほしいです。	学校としては、生徒一人ひとりが自分のペースで将来の像を見つけられるよう、幅広い選択肢を提示しているところです。特定の職業等を強調しすぎることのないよう、努めてまいります。

5	こども・若者	57頁	進学に関する金銭面での援助をしてほしい。 ・私立高校でも授業料を下げたり、免除する取組 ・大学費用の無償化 同様の意見が8件ありました	私立高校の授業料の減免および大学費用の無償化に関する援助はありません。また、今後の検討も難しい状況です。
6	こども・若者	57頁	勉強の面で高校や大学などの受験に本気で受かりたい人のための支援を出来ればしてほしいです。	令和7年度に、ミナテラス内に中高生向けの学習ルームを整備する予定です。 また、令和7年4月に開館した益城町地域共生センターにも、誰でも自由に利用できるフリースペースを設置しています。 この他、計画書56頁に記載のとおり、町内公共施設の一般利用可能スペースも活用できるよう整理し、学習をはじめ自由に過ごせる居場所づくりを進めていきます。 こういった情報が、こども・若者に広く届くよう情報発信にも努めてまいります。
7	こども・若者、一般	57頁	高校誘致や企業誘致をしなければ、将来の夢が見つかっても益城町から流出してしまうと思います。 同様の意見が3件ありました	町では熊本地震からの創造的復興の一環として、企業誘致に注力しています。菊陽町に世界最大手の半導体製造業者が進出した影響もあり、半導体関連を中心とした企業の進出が続いています。令和2年からの5年間で、益城町は23社と立地協定を締結しました。この流れを促進するために、グランメッセ熊本の北側で産業団地の整備も進めています。ぜひ将来の夢を見つけて、益城町で働いていただければと思います。 高校誘致については、いただいたご意見も参考に、引き続き検討してまいります。

8	こども・若者	57頁	仕事体験や進学、授業に関する取組を行う時には、学校を通じてプリントの配布をするなど、その情報を知りやすくしてほしいです。	学校の取組については、お知らせの文書や時間割表、安心メール等で必要に応じて周知しているものと認識しております。今後も、分かりやすい情報発信について、検討してまいります。

3-9．結婚・出産への支援、仕事と家庭の両立支援

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	58頁～59頁	大人になっても安心して子育てできるように、支援してくれる町であって欲しいです。（同様の意見が2件ありました）	計画書に記載のとおり、乳幼児期から児童期・思春期・青年期、妊娠期から出産・子育て期など、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行い、こども・若者・子育て世代が安心して過ごすことができる町であるよう努めてまいります。
2	一般	58頁～59頁	男性保護者が参加しやすい活動内容の工夫について、シングルマザーだけではなく、シングルファザーが家事をする家が増えてきていいと思いました。（同様の意見が3件ありました）	計画書59頁に記載のとおり、令和7年4月に開館した益城町地域共生センターで、男性向けの家事支援講座を実施できるよう検討を進めてまいります。

3	こども・若者	58頁～59頁	結婚やこどもを持つ事を希望する方への手助けについて、なにを取り組んでいるのか分かりませんでした。	令和7年1月27日に熊本市と益城町を含む13市町村で、結婚を希望する独身者を応援するため、お見合い支援や婚活イベントの開催など、多様な出会いの機会を提供する「くまもと出会いサポートセンター”Kumarry”」を開設しました。 登録会員募集やイベント情報などの周知に努めてまいります。 計画書58頁に記載のとおり、「保護者の健康面に対しての専門的な対応（健診・保健指導・健康相談）」「不妊治療費助成事業」「子育て世代への支援（相談）」等の取り組みを行ってまいります。 また、計画書41頁に記載のとおり、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援を実施し、安心してこどもを産み育てられる環境づくりに努めてまいります。
4	一般	58頁～59頁	子どもたちを保育園に預けれる間は、早朝や夕方も仕事しやすかったですが、小学校に進学すると逆にその時間の仕事は家庭と両立する上では不安が伴うのが現状です。「仕事と家庭の両立支援」と計画にあるのであれば、児童手当や医療費助成などでの金銭的な支援とは別枠で、子育て世代でも安心して働きやすい職場作りを充実させていく為に意見させて頂こうと思ったので、少しでも考えて頂けたら幸いです。	計画書59頁に記載のとおり、町役場はもとより町内の事業者に対しても、短時間勤務やフレックスタイム制など多様な働き方に関する情報提供を行いながら、地域の特性に応じたワーク・ライフ・バランスの推進や長時間労働の見直しなど、性別に関係なく、出産・子育てなど家庭と仕事を両立しやすい環境づくりを図ってまいります。

４．多様なこども・若者、子育て世代が置かれた環境に関わらず幸せに暮らすことができるまち

4-1．相談や悩みごと

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	60頁～65頁	悩みがあるこどもが相談しやすい場があると良いと思います。 ・色々な事情があるこどもたち同士で話す場 ・心と体で特別なサポートが必要な人だけの相談所 ・直接じゃなくて手紙、返事がいるかは選択式みたいにする 同様の意見が4件ありました	各学校には、教職員の他、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、養護教諭を窓口に相談体制を整えています。 今後も、様々な状況にあるこどもが相談しやすいよう、既存の相談窓口の拡充や新たな相談機会の創出など、関係機関と連携しながら検討してまいります。
2	こども・若者	60頁～65頁	こども、若者もおとなも幅広い年代に目を向けて守っていくことが大切だと思いました。 同様の意見が2件ありました	支援を必要とするこども・若者・子育て世代が相談しやすい、また、本人が相談できない場合でも周りの関係者が気付き、適切な支援につなぐことができるよう、家庭・地域・学校等関係機関・行政が連携し、相談窓口や見守り等の体制づくりを進めてまいります。
3	こども・若者	60頁～65頁	やさしい概要版の目標4の③について、「こどもが傷つけられないように守っていく」ためにどのようなことをするのか分かりませんでした。	該当の箇所は、町全体で児童虐待防止を推進するために設定している項目です。具体的には、計画書の61頁に記載のとおり、様々な相談窓口やスクールカウンセラーを設置するなど、支援を必要とする家庭の把握や虐待等の予防・早期発見のための体制を充実させてまいります。

4-2．こどもの貧困対策

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	60頁	「こども食堂では、食べ物や洋服を用意したり、学習を手伝う」と書かれていましたが、こども食堂で働くのに高校生や大学生などのボランティアを募集できたら、学生にとっても良い経験になり、こども食堂も助けになるのでは、と思いました。 こどもも地域の方々のためにできることをしたいです。	現在も、こども食堂における学習支援で、大学生ボランティアに参加いただいているところです。 今後も、こども・若者を含めた地域の方々のご協力をいただきながら、どういった取り組みができるか検討してまいります。

4-3．ひとり親家庭への支援

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	62頁	ひとり親家庭の人は中学、高校の制服代を無償化、 給食費の無償化を検討してほしい 同様の意見が2件ありました	計画書62頁に記載のとおり、ひとり親家庭には、児童扶養手当やひとり親家庭等医療費助成等の支援を行っています。 また、制服代の無償化は行っていませんが、経済的に困窮し就学困難な児童生徒の就学を支援するために、学用品購入費、学校給食費や修学旅行費などの就学費を援助しています。

4-4．障がい児福祉

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	63頁～64頁	放課後デイサービスを増やしてほしいです。	児童発達支援や放課後等デイサービスの提供にあたっては、第3期益城町障がい児福祉計画において、令和8年度までの利用者数を推計し、その数値に見合ったサービスを提供できるよう事業所の公募等を行うなどして、サービス提供体制の整備に取り組んでいます。利用者に必要なサービスが提供できるよう、引き続き体制整備に努めてまいります。 また、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用支給量は、利用の適正化や透明性の確保を図るため、上益城郡内5町において、支給量基準を定めています。児童発達支援や放課後等デイサービスは、専門的なスタッフによる質の高い「療育」を受けるサービスであるため、こどもの障がいの程度に応じて適切な支給量を判断しております。
2	一般	63頁～64頁	支援クラスに入るほどではないけれど、勉強に集中するまでに、理解するまでに手助けが必要なこどもがクラスに 1/4 ほどいると思います。担任の先生の他に学習支援の先生の配置をお願いしたいです。教員免許があることが望ましいですが、地域のボランティアさんに協力してもらってはどうかと思います。	現在も学級支援員を配置し学級担任と連携を図りながら学級運営に取り組んでいます。今後の増員等については、必要に応じ検討してまいります。また、地域のボランティアの協力についても検討してまいります。

5．こども・若者が安全に暮らすことができるまち

5-1．公園整備・遊び場の整備

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者、一般	66頁	公園を増やしてほしいです。 ・潮井自然公園のような大型遊具と大型駐車場を備えた広い公園 ・防災公園の整備 ・幼いこどもが安全に楽しく遊べる公園 ・学校の近くなどアクセスのよい場所にある公園 ・グリーンパークのような人工芝のある公園 同様の意見が70件ありました	町内には100か所を超える公園を設置しています。既存公園の機能を充実させながらこどもたちが楽しめる公園の計画的な整備に努めてまいります。
2	こども・若者	66頁	公園を整備することについてとても良いと思います。 同様の意見が6件ありました	
3	こども・若者	66頁	公園の遊具を整備してほしいです。 ・ブランコや遊具や幼いこどもから中学生まで遊べる遊具などを増やしてほしい ・危険ではない遊具にしてほしい ・ジャングルジムや滑り台などの高さを高くしてほしい ・ブランコカバーを置いてほしい ・砂場を大きくしてほしい ・時計を付けてほしい 同様の意見が83件ありました	公園遊具の劣化点検を定期的に実施し、適宜整備に努めてまいります。 遊具の更新、新設については利用者のニーズを踏まえながら整備してまいります。
4	こども・若者	66頁	公園の安全性を保ってほしいです。 ・こどもたちが安全に公園で遊べるように柵などをつけたり、頑丈な柵にしてほしい ・指に刺さったり、枝を投げる子がいるので、木や竹などの柵を置かないでほしい ・防犯カメラの導入など、犯罪に巻き込まれる事がないような公園 ・街灯を付けてほしい ・躓かないよう地面の整備をする 同様の意見が13件ありました	地域の方々や益城町シルバー人材センターによる日常的な点検に努め、安全性を確保してまいります。

5	こども・若者、一般	66頁	公園でスポーツやボール遊びができるようにしてほしいです。 ・公園でボールを使えるようにする ・サッカーゴールやバスケットゴールを設置する	同様の意見が30件ありました	公園利用のルールは、公園ごとにそれぞれの地域で決定されています。ボール遊びをして良いかどうかも含め、利用者のマナー向上や安全の確保等、それぞれの地域で公園利用のルールをご検討ください。 なお、町では、現在、スポーツができるグラウンドの整備について、適地の調査を行っているところです。
6	一般	66頁	現在ある公園は使い方のルールが細かくあり、 こどもたちがのびのび遊べません。大人の都合でなく、 こどもの成長につながるようなルール作りをお願いしたいです。	同様の意見が3件ありました	
7	こども・若者	66頁	公園をきれいに保ってほしいです。 ・公園にポイ捨てしている人がたくさんいるからゴミ箱を置く ・公園をみんなで掃除する時間つくったり、ゴミ拾いをする ・トイレや水道をきれいにしてほしい	同様の意見が71件ありました	地域の方々や益城町シルバー人材センターにおいて日常的な点検につとめ、清潔な公園維持に努めてまいります。 地域住民による主体的な清掃活動は歓迎いたします。
8	こども・若者	66頁	公園に雑草が生えていて遊べないので定期的に刈って欲しい	同様の意見が11件ありました	
9	こども・若者、一般	66頁	ベンチを整備してほしいです。 ・ベンチを増やしてほしい ・日よけのため屋根があるベンチやポートがあるとよい	同様の意見が11件ありました	快適に過ごせる公園の計画的な整備に努めてまいります。公園施設などの更新、新設については利用者のニーズを踏まえながら整備してまいります。
10	こども・若者	66頁	トイレや水道を設置してほしい。	同様の意見が6件ありました	
11	こども・若者	66頁	金木犀や花などを植えてほしい。	同様の意見が3件ありました	
12	こども・若者	66頁	公園について自販機を置いてほしい。	同様の意見が2件ありました	
13	こども・若者	66頁	公園の整備しなくても問題ないです。 ・税金を使うのであれば反対です。 ・近くにあるので整備しなくても問題ないです。	同様の意見が3件ありました	新たな公園整備については、整備計画や財政計画への適切な位置づけなど慎重に検討してまいります。

5-2．通学路・交通環境

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	66頁、67頁	安全な通学路や歩道を整備してほしいです。 ・歩道を広くしてほしい ・自転車が安心して通れる道路をつくってほしい ・縁石をつくってほしい ・広崎のトライアルができ、交通量が増えたため通学路をつくってほしい ・柵を設置する ・曲がり角にミラーを設置する ・交通マナーを守ってもらう 同様の意見が35件ありました	通学路の安全対策については、学校から危険箇所の情報提供を受け、現在も年2回の「通学路安全推進会議」を開催しております。今後も、通学路の安全確保のため、関係機関と連携しながら検討を重ねてまいります。
2	こども・若者	66頁、67頁	こどもたちが安心できる通学路づくりについて、普通の通学路より学校が遠くなって、学校に行くまでが大変になってしまうかもしれないと思いました。	
3	こども・若者	66頁、67頁	木や雑草が生い茂ってで危ない道路があり、草刈りの頻度を上げてほしいです。 同様の意見が7件ありました	
4	こども・若者	66頁、67頁	歩道部分の点字ブロックの上にマンホールがあり、段差で目の見えない人が転びそうです	道路管理者と協議して、対応策を検討してまいります。
5	こども・若者	66頁、67頁	部活動で遅くなるため、暗い通学路に街灯を増やしてほしいです。 同様の意見が10件ありました	益城町では地区と地区をつなぐ主要な道路に防犯灯を設置している他、各地区で防犯灯を設置する際に地区に対して助成を行っています。通学路が暗く、危険な場合は町危機管理課や各地区の区長にご相談ください。
6	こども・若者	66頁、67頁	・通学路で大人の人に見守り活動してほしいです。 ・防犯強化を行ってほしいです。 同様の意見が5件ありました	現在、保護者による旗振り、地域のボランティアによる見守りをしていただいています。 また、毎月1、10、20日の交通安全日には、交通指導員隊による通学路の見守り、パトロールも行われています。
7	一般	66頁、67頁	通学路を挨拶学路にできたら、挨拶されて気分の悪い人はいないと思います。こどもの「おはよう」は元気がもらえます。	

8	こども・若者	66頁、67頁	早く通学路の道路工事を終わらせてほしいです。 同様の意見が4件ありました	道路工事期間中、近隣住民及び通行者の皆さまにはご迷惑をおかけし申し訳ありません。安全に配慮し工事を進めてまいりますので、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。
9	こども・若者、一般	66頁、67頁	標識や信号、横断歩道を設置してほしいです。 同様の意見が10件ありました	標識や信号、横断歩道につきましては、各地区からの要望に基づき公安委員会へ要望を行ってまいります。
10	一般	66頁、67頁	スクールバスについて 昨今の熊本における、夏期の気温は異常であり、九州内でも特に熊本は気温・湿度ともに高く、熱中症のリスクは成人でも非常に高くなっていると感じています。同じ九州ですが、県外出身の身からすると気温、体感温度、湿度、風全てが違います。 その中で、小学校低学年の児童は6月下旬頃～10月中旬頃（夏休みは除く）の日中で最高気温になる時間帯に顔を真っ赤にしながら下校している様子に遭遇します。 園児を子育てしている世帯又はこれから子どもが産まれ子育てをしていく世帯の子どもが小学校に入学する頃には、今より夏期における気温さらにはゲリラ豪雨等危険なものになると考えています。 したがって、家から学校までの距離（2km以上等） 夏期期間中（6月～10月）だけでもスクールバスの 運行があれば親としては安心であると考えております。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を参考に、児童生徒の登下校のあり方について検討を重ねてまいります。

5-3．防災

番号	分類	計画書	意見	回答
1	一般	66頁	益城町だからこそ、こども計画の中に、災害時の視点が入ってもよいと思う。災害時の妊産婦支援、避難所でのこどもの居場所、被災後の保育・教育の在り方の問題、親子のメンタルケア、支援者のケア等。可能であれば検討いただきたいです。	大規模災害を経験した益城町として、計画書の[施策の展開（主な取り組み）]に以下内容を追加し、取り組んでまいります。 「大規模災害時の避難所において、粉ミルクや哺乳瓶、おむつなどの生活必需品を提供できるように備蓄品を準備し、避難時の生活に支障がないよう体制を整備します。また、大規模災害時に医師や看護師等の派遣により医療支援を受けることができるよう、認定NPO法人と協定を結んでいます。 災害対応が長期化する場合には、避難所におけるこどもの居場所確保についても早期に検討します。」
2	一般	66頁	熊本県はとても大きな地震を体験しているため、他の県の方達よりも地震の恐ろしさを知っていると思います。そのため現在言われている南海トラフ地震や首都直下型地震など、予想されている大きな地震に対する備えを率先して行い他の県に広めていく必要があると思います。	町ではまちづくり協議会の提案をもとに避難地・避難路の整備を行っている他、各学校や避難地等に防災倉庫を設置し、災害時に必要な食料、器具を備蓄しています。また、熊本地震の経験を全国の自治体や防災関係機関等で活用して頂くため、「平成28年熊本地震 益城町による対応の検証報告書」を作成し、視察受け入れ等を通じ、大規模災害時の経験を他自治体等に伝える活動を行っています。

3	こども・若者	66頁	全ての家に防災グッズを配ると良いと思います。 防災のイベントをすると良いと思います。 同様の意見が2件ありました	町では各学校や避難地等に防災倉庫を設置し、災害時に必要な食料、器具を備蓄しています。また、総合防災訓練等防災に関するイベントを行う際にはアルファ化米や非常持ち出し袋の配布を行うこともありますのでぜひご参加ください。
4	一般	66頁	熊本地震では、余震，本震ともに夜だったので、親や周りの大人に守ってもらえたが、昼間にもしあのような大きな地震が起きた場合に自分の生命は自分で守る，守らなければいけないという気持ちを強く持つために『こども向け防犯ハンドブック』があると家庭でも地震の対応のしかたや避難場所の再確認しながら教える事ができると思います。（低学年は、親の携帯番号を知らないこどもが多いのが実情） 東京や福岡他は、すでに『こども向け防犯ハンドブック』があるのに被災地である益城町に『こども向け防犯ハンドブック』がないのはおかしいと思う。危機管理と合同で作成し配布してほしいです。幼、保，小，中では防犯訓練は、日常的にあっているが、ハンドブックを通して再度確認したり話し合いができると思いました。 また、東京では『子育て家庭の為の防犯ハンドブック』がある。子育て世代にとっては、このハンドブックが、あると事前の準備や心構えもできるのではないかと思う。子育て世代が安心できるまち''こどもまんなか益城町''に向けて一歩前進できるのではないかと思う。	町では各学校とも統一の防災教育年間指導計画を作成し、自然災害について学ぶ時間を設けている他、各家庭に配布している防災マップに防災対策や非常時持ち出し品のチェックリストを記載して、災害に対する事前の準備について点検をお願いしているところです。また、各学校等においてこどもたちを犯罪の被害にあわせないために注意するとともに、こどもたちが「自分の身は自分で守る」ことを身につけるための防犯教育を行っています。 ご指摘のこども向けの防災や防犯に関するハンドブックにつきましては、関係課と協議のうえ検討させていただきます。

6．その他

6-1．まちづくりや商業施設の誘致

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	-	・コンビニやショッピングモール、飲食店など商業施設をふやしてほしいです。 ・買い物がしやすいように買い物のカートに子供が乗る用の椅子をつけたりするともっといいと思います。 同様の意見が25件ありました	町では、熊本地震からの復興のシンボルの1つとして、県内初の2階建てコンテナ複合施設「BOX SQUARE マシキラリ」の整備・運営を支援しています。令和7年3月現在、計14店舗（イートイン／テイクアウト飲食店、和洋菓子店、カフェ、居酒屋・バー、生活サービス店、物販等）が営業しています。また、新たに店舗等を始める方々を対象として、チャレンジショップの整備・運営や初期費用の一部補助等の支援を行っています。 都市計画上の規制があるため簡単ではありませんが、商業施設の進出を後押しするべく、今後も努めてまいります。 なお、益城町総合計画では、「買い物利便性の向上」を重要施策として掲げており、用途地域の適切な設定を行い、新たな商業施設の進出を促す環境を整えるとともに、既存の商業施設との連携を促す取り組みを進めていこうとしています。これにより、コンビニやショッピングモール、飲食店などの商業施設が増え、町全体の活性化にも繋がると考えております。

2	こども・若者	－	小児科などもあるが、町の中心部に多くの人を受け入れられる大きな病院をつくるとよいと思います。	病院など医療機関の開設については、町の区域にとどまらず、広域的な医療提供体制の中で検討する必要があります。益城町は、「第8次熊本県保健医療計画」に基づき、「熊本・上益城圏域」に属しており、この圏域全体での医療資源の配置や役割分担を考慮する必要があります。近隣には医療機関が充実している熊本市があり、圏域全体での医療資源のバランスも考慮する必要があります。 また、大きな病院の建設には、 ・十分な数の医師・看護師等の医療従事者の確保 ・診療科目の設定や医療機器の整備 ・膨大な建設費用と維持管理費の確保 ・既存医療機関との役割分担や連携体制の構築 など、多岐にわたる検討が必要となります。 町では現在、既存の医療機関との連携を図りながら、この圏域内での役割を担いつつ、地域医療体制の充実に向けて取り組んでいます。 いただいたご意見も参考に、町民の皆様が安心して医療サービスを受けられるよう、引き続き、地域医療の充実に向けて取り組んでまいります。

3	こども・若者	－	自然環境に配慮したまちにしてほしい。 ・建物ばかり建っていて、木とか伐採されていてあまり良くないと思います。 ・植物や木など自然がたくさんある街並みにしてほしい。 同様の意見が2件ありました	区画整理事業や地区計画においては公園を造るなど一定の緑地確保を行って進めているところです。
4	こども・若者	－	地域のイベントをもっと増やしたり、もっと参加しやすくしてほしいです。 ・こどもから高齢者まで参加しやすいイベント ・益城町の夏祭りやハロウィン ・マシキラリを活用した休日のイベント 同様の意見が5件ありました	町では、令和6年11月に9年ぶりの打ち上げ花火を含む「益城町みんなの秋祭り」を開催しました。また、毎年3月にはサンジの誕生日を祝うイベントを開催しています。 今後もさまざまなイベントの企画や支援をしていきたいと思いますので、ぜひご参加ください。 また、町としては、住民全員がまちづくりの主体となり、町や町議会、民間、大学などそこに関係するすべての方がまちづくりの主体となることが重要だと考えており、地域の方々や民間事業者などが、地域のイベントを開催される際に必要なサポートや広報などの支援を行っています。 これらの取り組みを通じて、地域の方々が主体的に企画・実施するイベントの増加を促し、誰もがより参加しやすい環境を整備してまいります。

5	こども・若者	－	掲示板を増やして地域の交流をもっと盛んにしてほしいです。	町では、町内会が設置する掲示板に対して補助金を交付する制度を設けており、地域の皆さまが情報を共有しやすい環境づくりを支援しております。 新たに掲示板を設置する場合は、お住いの町内会を通じて補助金の申請が可能ですので、掲示板の新設については、町内会の会長（区長）等にご相談ください。

6-2．公共交通機関の整備

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者	－	公共交通機関（バス）を増やして欲しいです。 ・ミナテラスがあるところにバス停の設置 ・病院に行きやすいような町の公共バスを運営 同様の意見が5件ありました	町民の皆さまが生活する上で、公共交通機関の利便性は非常に重要であると認識しております。そのため、公共交通の利便性向上を目指した取り組みを進めております。 具体的には、木山、広安地区では予約型乗合バスを、福田、津森地区では予約型乗合タクシーを運行しています。さらに、飯野地区でも令和7年度から予約型乗合タクシーの実証運行を始める予定です。これらの取り組みにより、町内全域にわたって、公共交通を利用しやすい環境を整えてまいります。 ミナテラス周辺のバス停としましては、予約型乗合バスと予約型乗合タクシーは総合体育館に設置しています。 また、予約型乗合バスは、木山、広安地区内の医療機関へ行きやすい場所に乗降場所を設けております。 今後も、皆さまの生活の利便性向上のために、公共交通の充実を図ってまいります。

2	こども・若者	－	益城町まで市電を延ばして欲しいです。 同様の意見が4件ありました	熊本市電を含む公共交通の充実は、地域の皆さまの生活利便性向上や地域の活性化に寄与すると考えておりますが、熊本市電は熊本市の所管となりますので、機会があれば熊本市にご意見をお伝えしたいと思います。
3	こども・若者	－	こどもが安心して乗れるバスなどを出してほしいです。	本町では、木山、広安地区では予約型乗合バスを、福田、津森地区では予約型乗合タクシーを運行しています。さらに、飯野地区でも令和7年度から予約型乗合タクシーの実証運行を始める予定です。これらのバスやタクシーは予約型で、こどもも安心してご乗車いただけます。引き続き、町民の皆さまが安心して利用できる公共交通の整備に努めてまいります。

6-3．こども計画全体について

番号	分類	計画書	意見	回答
1	こども・若者、一般	全体	計画の内容に賛成です。 ・こどもだけでなく、若者や家庭にも目を向けているとこが良いと思いました。 ・最近は自己や犯罪が多いので、「こども・若者が安全に暮らすことができるまち」という目標が良いと思った。 ・「多様なこども・若者、子育て世代が置かれた環境に関わらず幸せに暮らすことができるまち」という目標が良いと思った。 同様の意見が22件ありました	計画にご賛同いただきありがとうございます。今後も皆さまのご意見を聞きながら、着実に計画を推進するよう努めてまいります。

2	こども・若者	全体	概要版（やさしい版）をみてもそれぞれの取組の違いが分からなかった	概要版については、手に取ってみてもらいやすいよう、計画書の内容を簡単に説明しているものです。計画の内容について詳細を知りたい場合は計画書をご確認下さい。計画書は益城町のHPからも見ることができます。
3	一般	全体	益城町で行われているこどもや子育てに関する取組をもっと アピールしてみると良いと思います。	ご意見いただきありがとうございます。 本町における子育て環境や取り組み、種々のイベント等について、内外に広く周知広報するよう努めてまいります。
4	一般	全体	＜こどもまんなか（例）育てる大人益城町＞我々年配を含め、町全体で取組 感をアピールしてほしいです。	
5	一般	全体	基本目標2の金銭的支援は、他の市町村と比べてもとても手厚いものでは無いかと思う。私は市外に住んでいるが、益城では最近色々なイベントが開催されたりしているので楽しい町という印象も強い。これからももっと様々なイベントをすることで町外へのアピール、移住者促進にも繋がると思います。	

6	一般	全体	地域全体でこども真ん中社会を実現するまち、素晴らしい目標が掲げられ嬉しく思います。 そのためには、こどもの権利を守りこどもの立場に立って物事を見直すところから始める必要があると思います。 例えば、昨年11月の広報ましきに、保育所入所の申請についての案内がありましたが、そこには離乳完了前の児は哺乳瓶で飲める事が条件ということが書かれ、しかも色付きで強調されておりました。これこそ、こどもの心を無視した大人の都合であり、そういう小さいところから、改善して欲しいと思います。 脳が8割作られる3歳までの親子のスキンシップを大切にする町である事が、将来を明るくすると思います。	ご意見いただきありがとうございます。 益城町のこども計画に対するご理解とご支持に感謝申し上げます。 こどもまんなか社会を実現するためには、こどもの権利を尊重し、こどもの視点に立った政策の見直しを進めることが重要であると認識しております。 ご指摘いただいた保育所入所の申請条件に関する記載について、昨年11月の広報ましきに掲載した「離乳完了前の児は哺乳瓶で飲めることが条件」という案内についてご説明いたします。この条件を強調した背景には、哺乳瓶での飲食ができないにもかかわらず、保育施設を利用する事案が発生したため、保育の現場での安全と円滑な運営を確保するために必要な措置として記載させていただきました。 しかしながら、この条件がこどもの心を無視した大人の都合であるとのご指摘も真摯に受け止めております。町としても、こどもたちの心を大切にし、親子のスキンシップを重視する方針を強化することが、将来を明るくするために重要であると考えております。 今後も、地域全体でこどもまんなか社会を実現するため、皆さまからのご意見を参考にしながら、こどもたちが安心して成長できる環境づくりに取り組んでまいります。
7	一般	全体	掲げている計画内容が、こどもたちを取り巻く関係者（特に大人）のための計画になり過ぎているように感じます。「こども真ん中」と掲げている当事者（こども）がこれを見て、「益城町すごいなー」と思えるのでしょうか。	

8	一般	全体	こどもを安心して生み育てる環境である事は、当たり前のことであり、また、こどもが、健全に育つ為に、様々な施策は必要と思います。成長段階において、切れ目の無い行政や、各機関の連携、支援を充実させていただきたいです。こどもまんなか社会の構築はやはり大人の役目かと思います。	計画書85頁に記載のとおり、家庭はもとより、地域や関係者、行政が連携し、協働による取り組みを推進する必要があると認識しております。 すべてのこども・若者・子育て世代に対し、乳幼児期から児童期・思春期・青年期、妊娠期から出産・子育て期など、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行い、計画の基本理念でもある「未来を担うこども・若者が健やかに育ち、尊重され、活躍するまち　子育て世代が安心できるまち　“こどもまんなか益城町”」を実現すべく努めてまいります。
9	一般	全体	「こどもまんなか益城町」に大賛成です。只、具体的に実行、フォローするのは我々年配者もやりたい。	